



第45号

誌名：平成武師道  
発行元：平成武師道活学塾事務局  
京都市下京区麩屋町四条下ル八文字町 341  
総合打撃道 TEL：075-361-1199

監修：山口 貴史 山下 希哉  
編集：兵庫 義幸

～礼儀と節度を考える～

# 平成武師道

## 〈人間活動学〉

成せば成る。

いい言葉だ。

誰しも何かを「やろう」という気持ちだけでは何もできはしない。

しかし、「やろう」という気持ちが心の底から沸き起こらない限り、何も始まらないし、続かないのも事実だ。

もちろん口先だけでは駄目なのは言うまでもない。

問題は「やろう」という気持ちを大きなエネルギーに変え、その力を形にして、行動にでなければならない。

一人でできる事は限られている。

そこで必要なのが人を巻き込んでいくエネルギーなのだ。

今、日本は人を巻き込んでいくエネルギーが不足している。

「人を巻き込む」と言うのはそう簡単に出てくるエネルギーではないだろう。

それでも以前の日本は「やろう」という気概だけはあったはずだ。

それがいつの間にか無気力、無能化した人間の集まりになってしまった。

もちろん全てがそうではないだろうが。

その結果、この国の文化は地に墮ち、経済力も低下し、

自分だけさえ良ければ良い者たちの集まりと化してしまった。

何をして良いのかわからなくなった日本人。

誰かに任せきりの日本人。

自らの心に喝を入れ、自らが立ち上がり日本の礎を築こうとする者はこの先出てくるのだろうか？

死をも恐れずに先の事よりも今一瞬に命を懸けて、何かを「やろう」とする人間は出て来ないのだろうか？

平和ボケと言われている日本という国に、無理をしてまで、命を賭けてまで、

何かに立ち向かうとする人間が出てくる事を期待する事自体がナンセンスかも知れない。

それでも次の世代に何かを残せるものを見つけないといけないのだ。

いや、それよりも現在、生きている我々がもっと「生きている」という事を

実感できる時代を作らなければならないだろう。

今回、11月30日に角川書店から「武師道」の本を発売する。

ようやく平成武師道の会として世に意見を発する第一歩の始まりである。

これも平成武師道の会の同志達のお陰である。

会を支えて頂き、勉強会で意見を出し合い、お互いが助け合った結果だと思う。

この「武師道」の本が世に出て、人々の目に留まり、読んでもらう事によって読んだ人の心に

「やる気」が起こり、この国を良い国にしようとする人間が出てきて欲しい。

これからも平成武師道の会は、この気持ちでこの日本を良い国にしていき、もっともっと多くを学び、

生きている限り、何かをこの日本に残していこう。

成せば成る。



佐々木